

国際ロータリー 第2550地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：K.R. ラビンドラン
 第2550地区ガバナー：中谷 研一
 事務所：〒325 - 0826 宇都宮市西原町1 4 2
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：和気 勝利 幹事：秋葉 秀樹
 事務局：(株)帝都 秋葉秀樹
 〒325-0051 那須塩原市豊町13-9
 TEL:0287-62-3131・FAX:0287-62-5455
 E-mail:hideki_akiba@teito-group.co.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町5 - 5

第2695回 和気年度 第9回 会報 2015- 8-26 司会 津久井誠二君

会長挨拶 和気勝利会長

今週から学校が始まるというお子さん、お孫さんをお持ちのご家庭も多いかと存じます。昨日、NHKのラジオを聞いていまし



たら、その子供達を対象に各界の専門家をお呼びして子供達の素朴な質問にお答えする「子供電話相談室」を放送しておりました。小学校低学年や学校へ上がる前のお子さんなどは、ほのぼのした質問も多く、笑いながら聞いておりました。

中には私たち大人でもなかなか直ぐに説明がつかない様な質問が飛び出しておりましたが、各方面の先生方が子供にも分かりやすい説明でお答えしていました。

「ひまわりはなぜ太陽の方向に向いているのですか」など大人でも直ぐに即答出来ない様な質問等あり、興味深く番組を楽しく拝聴しておりました。

そんなことを聞いているうちに、私も10数年前に黒磯ロータリークラブに入会させていただいた時にも、いろいろ分からないことが多々あったように思われます。

ロータリークラブ独特の言い方や考え方など、いろいろあるようです。

書物、書類等で調べたり、諸先輩に教を請うたりといろいろ勉強させていただいたように思われます。

今日は、入会当時私が疑問に感じていたロータリーの単年度制について話してみたいと思います。

皆さんはなぜロータリーは基本的(3年委員会も多少ある)に単年度制を取っているとお考えでしょうか？

一般的には、なぜ単年度制が取られているのか？

長期政権で組織が腐るのを防止するため？フレッシュな気持ちを常に持続させるため？突っ走るエネルギーを持続させるため？順繰りにやって理事長を経験する人を多くするため？広く浅く交流をさせるため？などなどいろんな理由があると思う。普通、どこの組織体でも1年単位での任期の更新というのは無い。あっても再任を妨げずというところではないかと思えます。

ロータリークラブにおける単年度のメリット・デメリットを私なりに考えてみました。メリットは：

1. いろいろな会員の方が、様々な役を担うチャンスが出来る。
2. 時間が1年と限られているので、時間内で最大の成果を出そうと力を発揮しようとする。
3. 単年度のみがやりやすい。
4. 事業のマンネリ化を防ぐ。(毎年フレッシュにスタート出来る)
5. 各長の方が「一年間なら頑張れるかも」という前向きになれるケースもある。

デメリットは：

1. 時間に限りがあるので、事業内容に限界がある場合がある。
2. 次の年度へ上手に継承出来ないと、事業の継続に

出席報告 出席委員会 黒澤洋一君 (出席規定の適用免除会員数5名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日8月26日	41(5)	36(5)人	5(0)人	87.8%	*	
前回8月19日	41(5)	34(4)人	7(0)人	83.9%	4人	92.7%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128,FAX62-1076(以上石山桂子)

メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

支障が出る場合がある。

3. 新しい良いことだと考えてスタートしても、次年度で見直されて改善され、やる気を損なう場合がある。

まだまだあるかと思いますが、このようなことが考えられます。答えは見つからず、ロータリーの単年度制は続いていくかと思いますが、わからないことは積極的に調べたり、また諸先輩等に教を請うてやっていきたいものだと考えております。

また今後行われるであろう、クラブアッセンブリーやクラブフォーラム等の場でも、会員皆さまの積極的なご発言・ご発表等ご期待しております。

❁ 幹事報告 秋葉秀樹幹事

第2550地区職業奉仕研究セミナー・地区ロータリー公共イメージ並びに会員増強セミナー開催のご案内が届いております。

9月ロータリーレートは8月同様1ドル=124円です。ロータリーの友 表紙再募集の案内を回覧中です。

❁ 委員会報告 高木茂副会長

親睦委員会観月会担当 礒勝彦委員

下記の要綱で観月会を開催いたします。奥様方のご参加をお待ちしています。

日時：9月30日（水曜日）6時例会点鐘

場所：「石山」本館及びチャーチ

内容：チャーチでの例会とコンサートの後、本館に移動して観月会の宴。

ゴルフ愛好会 高木慶一会長

和気年度ゴルフ愛好会年会費10,000円と、地区大会記念ゴルフ大会参加費6,000円を、9月24日の（木）に引き落とし致しますのでご準備をお願いします。

因みに地区大会記念大会の参加者は和気勝利会長、秋間忍会員、大森貞男会員、小野安正会員、齋藤武久会員、高根沢邦夫会員に高木慶一の7名です。

☺ ニコニコボックス 鈴木隆子君

村山 茂君 久しぶりに大内宿に行ってきました。山々の風情がいいですね。

礒 勝彦君 観月会担当になっています。楽しい会を目指します。

❁ 卓話 SAA

会場監督（SAA）田中徹委員長

本年度SAAは大森会員・大島会員・津久井会員・豊田会員と田中の5名が配属されました。

なかでも津久井会員と豊田会員は転勤のある会社に

所属しておりますので、早めにマイクを持たせた方がよいとの思いから、本日の卓話は2人が担当致しますのでどうぞお聞きください。

豊田哲司君

宿泊業として一番忙しい8月も終盤戦を迎えております。本日は何を話しようか、迷いましたが自分自身が一番話しやすい観光業について簡単にお話しさせていただきます。

昨年の4月に静岡県にありますが、浜名湖口イザルホテルから異動して参りまして、早いもので1年5ヶ月がたちました。

こちらに参りまして、ホテル経営において一番強く感じている事は、オンとオフが非常に激しい事です。

8月に関しましては、4月から9月の半年分の売上の4割近くを占める重要な月となっております。反対に1月や2月に関しましては、8月の売上に対して1/4の売上しかなく、とても厳しい経営状況です。ホテルは、365日24時間営業をしております。そして皆さんがお休みの時が繁忙日となります。また3日以上連続の有給休暇も、とりづらい環境下にあります。若いスタッフの離職率も、決して低くはありません。

その為この1月のオフシーズンに、館内設備点検として5日間の休館日を設けました。これは労働基準監督署からの有給休暇取得推進の対策も踏まえての事です。その為来年以降も継続していく予定です。

この8月も首都圏からの3世代を中心とした家族連れで、この1ヶ月間は95%の客室稼働率をあげております。



パソコンで『那須』をキーワードで検索しますと270件あまりのホテル・旅館・ペンション等の宿泊施設がございます。栃木県全体ですと約700件ある為、那須エリアが県内では一番多い宿泊施設があり、栃木県全体の4割を占めている事になります。

ちなみに、インターネット専門の最大手旅行会社であります、じゃらんネットで那須の宿泊施設を検索しますと200件以上の宿泊施設の情報が出て参ります。掲載順位の早い施設ほど、お客様の評価が高い施設であると思ってください。(正確にはそれ以外に、客室の提供数が多い等たくさんのルールがあり、ホテル業界に携わる人にも具体的な掲載順位のルールは、明かされておられません。)余談になりますが、以前ありました浜名湖のホテルでは、浜松浜名湖エリアの施設で1ページ目には出てきました。しかし現在のホテルの那須板室エリアでの掲載順位の悪さには、驚きました。それだけこのエリアにある宿泊施設の多さによる競争も厳しい事を知らされました。

また今後はよりインターネット経由でのお客様が増えてまいります。この8月に関しまして、インターネット専用の旅行会社(いわゆるネットエージェント)経由のお客様が、全体の43%まで急拡大してきております。(昨年は、全体の28%)また人気の避暑地ランキングでは、1番は北海道の富良野・2番に軽井沢、那須は7番目ではありますが、首都圏内に限りまして『那須』が1番人気のある避暑地として認知されております。

東京方面からのアクセスの良さ、那須の御用邸に象徴される自然の豊かさと、那須連山を中心としたロケーションの雄大さによる魅力を、私自身も感じております。そして宿泊施設として、その様な那須エリア特有の恩恵も8月に強く感じております。

当社ホテルは現在全国に28施設ございます。この8月だけに関しては、宿泊単価が沖縄にあります残波岬ロイヤルホテルに次ぐ2番目の高さです。その為8月の1ヶ月はよほどのミスをおかさない限り、忙しくて疲労も残りますが充実感を感じる事が出来ます。

それは東京を中心とした3世代のお客様が、気軽に旅行できるリゾート地、【特に夏休みの避暑地としてのブランドイメージが他の地方と比較して非常に高い】イコール【高宿泊単価】につながっていると感じております。

デフレ経済下の7年前、国内旅行では『安・近・短』・・・いわゆる、短い休みを近場で安上がりに過ごす旅行が主流でありました。しかし、今年は『アベノミクス』による経済環境下のもと、株価高騰にも支えられまして、日常生活におきまして、高くても良いものが好まれております。旅行も同じく以前であれば、安い商品か

ら売れておりましたが、高い商品も売れてきております。今年のゴールデンウィーク頃から、『安・近・短』ではなく『高・近・短』・・・短い休みを近場で過ごすけど、ちょっとリッチに過ごす旅行が人気になってきているようです。やっところちらの北関東まで好景気がまわってきた8月かなと感じております。と申しますのは、今年に入りましてから、1月に中国のビザが緩和された事もあり、訪日外国人旅行者の数が急激に増えております。特に中国の人口は13億人と日本の約10倍の人口で、非常に大きい市場で観光業だけでなく爆買をしてくれる中国人は、あらゆる業界に経済的な恩恵をもたらしております。

その影響かどうかは、わかりませんが、世界の成長を牽引してきた中国経済が鈍化の兆しを見せた『中国ショック』の深刻さが増してきております。日経平均株価が24日に895円安、そして昨日25日もさらに733円安の終値が17,806円まで急落してきており、経済的に今後の動向が非常にきになって参ります。

話しを一旦、訪日外国人旅行者に戻しますが、昨年の2014年度が過去最高の1,340万人と非常に好調であったところ、2015年度は今のところ、さらに好調で目標の1,500万人を大きく上回り、1,800万人に達する勢いがあるようです。当社のホテルも訪日外国人の取り込みには力を入れております。東京、大阪間、いわゆるゴールデンルート上にある当社の施設 浜名湖、長浜、八ヶ岳を中心として今年に入ってから東京より西にあるホテル全てで(九州・沖縄まで含め)大きく前年からの売上を増やしております。

しかし東の東北や北関東エリアに関しまして、訪日外国人旅行者の受入に大きく出遅れており、全体のわずか3%の実績しかないのが現状です。その様な状況下でありました為、この8月で当ホテルも少しは追い込めたかなと感じている今日この頃です。

津久井誠二君

みなさん今日は。本日は金融にまつわる話を三つさせて頂きます。

1. 中小企業の資金繰り状況

信金中央金庫の景気動向調査によると、中小企業の資金繰り判断DIは着実に改善し、リーマンショック以前の最高水準を



上回っている。借入難易度判断DIも同様に改善が続いており、「借入が容易」とする企業が増加する一方、「借入が困難」とする企業は減少している。ただし、何れの指数も、規模の小さい企業では全体を下回って推移しており、規模間格差が生じている。

2. 黒字家計の黄金比率

家計再生コンサルタント(横山氏)によると、黒字家計と赤字家計には、はっきりとした違いがある。支出を固定費と変動費に分け、分析した結果、黒字家計の平均は、固定費が45%、変動費が35%、残りの20%が自然と貯蓄額となる一方、赤字家計の平均は、固定費が65%、変動費が45%であり、10%の支出超過となっている。ちなみに分析上の固定費とは毎月一定額かかる費目で住宅費、通信費、生命保険料、車のローンや保険料、教育費、小遣い、ペット関連費などとしている。流動費とは毎月増減する費目で、生活するための活動費とした。食費、水道光熱費、ガソリン代、日用品代、医療費、交通費、被服費、交際費、娯楽費、嗜好品代、理美容、化粧品代などである。家計を黒字でかつ貯蓄を作れるような状態にするには、固定費45%、流動費35%を目安とすると良い。

3. 「銀座」があるなら「金座」もある？

金座とは江戸幕府から大判を除くすべての金貨の鑄造を独占的に請負った貨幣鑄造組織のことで、金貨の鑄造のほか、通貨の発行という現在の中央銀行業務に相当する役割を担っていた。金座は江戸のほかに、京都、佐渡、駿河にも開設された。後に京都と佐渡は江戸金座の出張所となり、駿河は1616年頃に廃止された。江戸の金座は現在の「日本橋本石町」にあり、日本銀行の本店建物は「金座跡地」に建っている。1890年、日銀旧館本館の建築中は、かなりの金粒が採取されたと言われている。

三分スピーチ 石山桂子

・・・私の関心事・・・

皆様こんにちは、今関心があることですが昨年の9

月、男の初孫が生まれ私もいよいよお婆ちゃんになりました。

孫の成長を見ていますと、会う度に色々な事が出来る様になっていて、子供の成長の速さに驚くほど感心しております。



又、私の家には90才になる主人の母と84才になる私の母が共に住んでおります。主人の母は毎日・毎日飽きずにハサミで紙を5センチ角に切り鶴を何年も折り続けています。「指先を使っているとボケないから」とボケ防止に励んでおりますが、最近89才になる友達が久しぶりに遊びに来まして母に「ねエー登美ちゃん幾つになったの？」と話しかけますと「私、私は85才だよ」と何のためらいもなく即答でした。ボケ防止は何とやら和む一場面でした。

一方、私の母はお裁縫が好きでミシンとアイロンが無いと生活が成り立たない程で、私の着ている着物はすべて母の縫った物です。時々従業員から「お母さんボタン取れたからお願いします。洋服破れたからお願いします」など頼まれると84才の年寄りでも「みんなの役に立てる」と喜びを感じ一生懸命直しに励みます。

私が「お母さん飽きずに良くやるね」と言いますと、やはり答えは「指先を動かしているとボケないから」と言います。

2人の母がいつまであと何年続けられるのか関心がありますし、毎日ひたすら鶴を折り裁縫している母の姿には感服いたします。

私に面倒をかけ無い様に日々努力をして生活をしている事、それから私を支えてくれている事には感謝です。

8月26日欠席(敬称略)

安藤譲治・上野和昭・深町彰・吉光寺政雄
福田逸男

前回8月19日分メイクアップ(敬称略)

植竹一裕・上野和昭・檜山達郎・安藤譲治

次回例会

平成27年9月3日

担当 雑誌委員会

近隣クラブ例会日

火曜日 西那須野/いとう家 0287-36-0028
水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
木曜日 那須/ホテルエピナール那須 0287-78-6000
金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：磯勝彦・齋藤武久・植竹一裕・高木慶一・鳥居輝一